

「堺事件」とは、慶応四年（一八六八）二月一日、新政府の命令により堺の警備を担当していた土佐藩兵が、突如上陸してきたフランス海軍の水兵を銃撃したことによる一連の事件を指します。平成三〇年が事件発生からちょうど一五〇年目に当たることから、「志国高知幕末維新博」の関連企画第五弾として取り上げることになりました。

この事件では、発砲を受けたフランス側に一人の死者が出たことから、事態は一気に国際問題化しました。慌てた新政府は土佐藩側に賠償金の支払いを命じ、発砲した藩士らを処分することで幕引きを図りました。この事件は、鳥羽・伏見の戦いのあとに生じた不幸な事件でしたが、その後の戊辰戦争の影に隠れ、歴史的な検証が十分なされたい面もあります。

本展では、事件はもとより、我が国が直面していた開国後の諸問題を概観するとともに、堺と土佐、そしてフランスそれぞれの時代状況も併せてご紹介いたします。また、事件後に著された歴史小説などの影響により、発砲の責任をとって壮烈な切腹をした土佐藩士だけが注目される傾向にあることから、生き残った藩士や、その周辺の人びとなどにも目を向け、あくまで事件全体の流れを多角的な視点で扱うよう心掛けました。

本展が、様々な国際問題を考える上でのささやかな教訓となり、不幸な歴史を乗り越えてゆくことの尊さを考えていただく一助となれば幸いです。

最後になりましたが、本展開催のため快く史料のご出品にご協力いただきました妙國寺や堺の公的機関をはじめ、関係各位に心より御礼申し上げます。

平成三〇年一月二〇日

高知県立歴史民俗資料館

館長 武政 龍司

目次

ごあいさつ
プロローグ 幕末の日本、幕末の土佐 5

I 尊王、攘夷思想の広がり 13
一 土佐藩の学問と思想体系 14
二 学者の家、箕浦家の一族 19

II 大坂警固につく土佐藩 21
特別寄稿 矢内一磨
「江戸時代後期の堺について―都市とその賑わい―」 29

III 土佐藩兵、上方へ 33
一 江戸時代の堺 34
二 土佐藩兵、出撃！ 40

IV 「堺事件」勃発 49
一 箕浦猪之吉、堺へ 50
二 横田辰五郎の証言 56
三 堺事件のその後 78

資料解説 89
参考文献 100
謝辞 協力者一覧 101

凡例

- 一 本書は、高知県立歴史民俗資料館において、平成三〇年一月二〇日（土）～平成三〇年三月二五日（日）に開催する企画展「堺事件―150年の時を経て―」の展示解説図録である。三階総合展示室で並行して開催するコーナー展「谷作七のみた戊辰戦争」（二月二七日（土）～三月二五日（日））の内容も含むが、必ずしもすべての資料写真を掲載していない。
- 二 本展では、史料の貸与、写真データの提供等で大阪府堺市の妙國寺、堺市博物館、堺市立中央図書館等から格別のご協力を賜った。
- 三 会期中、資料保護のため展示資料を一部変更することがある。また資料番号は展示全体の流れを考慮して付したが、実際の展示順とは異なる場合がある。
- 四 パネル展示資料については、図録の写真資料名称の後ろに（※）を付けて区別した。また複製資料は（複製）と明記した。
- 五 本図録の特別寄稿及びコラムについては、堺市博物館学芸員矢内一磨氏、当館資料調査員片岡剛氏より貴重な論考をいただいた。また当館学芸員石畑匡基が一項目（「伊達宗城の日記」）を執筆した。
- 六 本書の編集・執筆は、当館学芸課長野本亮が行った。また翻刻やパネル作成、各種のデータ入力では、学芸員中村淳子、石畑匡基と当館職員久保由美の協力を得た。
- 七 本展に展示されている史料のなかには、今日的には適切ではない身分呼称や、外国人に対する用語が含まれている。近代以前の人権意識をありのまま扱うことが、より正しく歴史を学ぶことにつながるのと考え、方から蔑称などはそのまま記している。
- 八 「志国高知幕末維新博」とは、大政奉還、明治維新から相次いで一五〇年を迎える、平成二九年～三〇年にかけて高知県が開催しているイベントである。当館は地域会場館として本年度五本の展示会を開催した。